

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映されたのか、対応を追跡しました。

●平成28年3月定例会● 一般質問
北郷 幹夫 議員

スズメバチ駆除費用を補助せよ

スズメバチは、暖かい時期になると活動が活発となり、刺される危険性があります。

巣の駆除費用の一部を助成すべきと思いますが、町長の考えを伺います。

制度の創設に向け検討

安全で安心な住民生活の確保と負担軽減を図るため、補助制度の創設に向けて検討します。

巣の駆除費用に対し補助金を交付

スズメバチの駆除処理を業者に委託した場合、1件につき、当該駆除処理に要した費用の2分の1の額とし、1万5千円を限度として補助されます。（申請手続きは環境防災課まで）



一般質問席

6人の議員が町政を問う

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

外出支援サービス事業の今後の展望は

遠藤町長／必要なサービスが提供出来るよう対応

門馬 仮設住宅等の
供与期限が平成
29年3月と迫って
います。

供与期限以降、引き続きいわき市内の医療機関に通院をすれば、当町の老人福祉センター事業の外出支援サービス事業を利用する希望者が見込まれると思いますが、
①現在、このサービスを利用している方の延人数及び1日あたり何人利用していますか。
②今後、増加することのような問題が考えられますか。

町長 ①延人数は、
369人であ
り、一日当たりの利用
人数は1・5人です。

②現在、外出支援サービスは広野町社会福祉協議会へ委託し、職員3人体制で実施しています。
今後、利用者が急激に増加した場合には、必要な方に必要なサービスを提供できなくなる可能性が考えられるため、中・長期的な視点に立ち、対応策を講じていきます。



必要ときにサービスを提供できるように（社協で実施する外出支援サービス）

保健・福祉・介護の一元化を検討せよ

遠藤町長／財政的負担等を踏まえ検討

門馬 平成28年3月
議会の施政方
針で、保健・医療・福
祉の充実などの重点事
業をあげていますが、
役場に福祉介護課、町
民保健課、役場外に保
健センター、老人福祉
センター（社協）、包
括支援センターと町民
から見るとサービス部
門が分かれていたた
め、保健・福祉・介護
の一元化を研究する事
も必要になってくる
と思いますが、どう考
えますか。

町長 平成26年4
月、役場組織
体制をグループ制から
課係制へ再編した際
に、町民保健グルー
プ、福祉環境グルー
プ、福祉環境グルー
プ及び児童保育グルー
プで所管していた関連
業務を町民保健課、福祉
介護課で実施すること
とし、両課連携のもと、
町民に対し行き届いた
サービスの提供に努め
ています。

保健・福祉・介護分野のサービス部門の一元化は、町民にとってスピーディーでわかりやすいものと考えられるため、町の財政的負担等も踏まえ検討していきます。



門馬まりえ 議員